



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 中国工業株式会社 上場取引所 東証一部  
 コード番号 5974 URL <http://www.ckk-chugoku.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名） 野村 實也  
 問合せ先責任者（役職名）経営管理部長（氏名） 小田 和守 TEL (0823) 72-1322  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,457	1.0	125		113		120	
27年3月期第1四半期	2,481	7.2	63		58		73	

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 8百万円(%) 27年3月期第1四半期 50百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第1四半期	35	45		
27年3月期第1四半期	21	67		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
28年3月期第1四半期	10,114		3,987		36.6	1,092	00	
27年3月期	10,567		4,023		35.4	1,103	07	

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,699百万円 27年3月期 3,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年3月期				7.00	7.00	
28年3月期						
28年3月期(予想)				7.00	7.00	

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	5,100	0.2	110		95		115		33	63
通期	12,000	1.4	130	1.6	165	0.9	120	5.0	35	09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規社除外社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	3,420,000株	27年3月期	3,420,000株
期末自己株式数	28年3月期1Q	32,424株	27年3月期	32,220株
期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	3,387,661株	27年3月期1Q	3,387,880株

##### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は継続中であります。

##### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報に基づいたものであり、実際の業績につきましては今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想等の前提となる条件等については、〔添付資料〕3ページ〔当四半期の連結業績等に関する定性的情報〕(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . サマリー情報 (注記事項) に関する事項 .....	3
( 1 ) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
( 2 ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 3 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
( 継続企業の前提に関する注記 ) .....	8
( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ) .....	8
( セグメント情報等 ) .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な内需に支えられ、ゆるやかな回復基調にあるものの、円安の影響による最終消費財の値上げなどによる消費マインドの停滞など先行き不透明な状況が続いております。設備投資は、好調な企業業績を背景に増加傾向にあるものの、公共投資に弱さがみられるなど、いまだ力強さに欠ける状況となっております。

一方、改正電気事業法が成立し、平成 28 年の電力小売の完全自由化が決定されたことを受け、当社グループを取り巻くガス事業分野のエネルギー関連は規制緩和の方向に進み、業種の垣根を越えた業界再編に向けての変化が予想されます。

このような経済情勢のなか、搬送機器や環境資材の工事完了により、鉄構輸送機事業及び施設機器事業が増収となりましたものの、一般高圧ガス容器の販売数量や貨物輸送量の減少により高圧機器事業及び運送事業は減収となりました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は 24 億 57 百万円（前年同期比 24 百万円の減収）となり、営業損失は 1 億 25 百万円（前年同期比 61 百万円の赤字拡大）、経常損失は 1 億 13 百万円（前年同期比 55 百万円の赤字拡大）、親会社株主に帰属する四半期純損失は 1 億 20 百万円（前年同期比 46 百万円の赤字拡大）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は、次のとおりであります。

高圧機器事業は、主力製品である LP ガス容器は前年同期並みに推移したものの、一般高圧ガス容器の販売数量が落ち込み、事業全体の売上高は 12 億 58 百万円となり、前年同期を 1 億 16 百万円(8.5%)下回りました。また、セグメント損益（営業損益）は、売上高の減少により前年同期 56 百万円の黒字からわずかながら赤字となりました。

鉄構輸送機事業は、コンベヤ設備を主体とした搬送機器の大型物件の工事完了により、事業全体の売上高は 2 億 62 百万円となり、前年同期を 1 億 8 百万円(70.2%)上回りました。しかしながら、セグメント利益（営業利益）は、外注費等の調達コスト増加により、前年同期と比べ 5 百万円下回る 3 百万円の黒字となりました。

施設機器事業は、畜産分野の主力製品である飼料タンクの販売数量が堅調に推移し、環境資材の売上が増加したことにより、事業全体の売上高は 2 億 54 百万円となり、前年同期を 12 百万円(5.3%)上回りました。また、セグメント損失(営業損失)は売上高の増加により、前年同期と比べ 5 百万円赤字が縮小し、11 百万円となりました。

運送事業は、国内貨物輸送量が低水準で推移したことにより、事業全体の売上高は 6 億 81 百万円となり、前年同期を 29 百万円(4.1%)下回りました。また、セグメント損益（営業損益）は、売上高の減少により、前年同期 9 百万円の黒字から 7 百万円の赤字となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して 4 億 53 百万円(4.3%)減少し、101 億 14 百万円となりました。

資産は、投資有価証券が時価の上昇により 1 億 69 百万円増加しましたが、現金及び預金が 2 億 28 百万円、受取手形及び売掛金が 4 億 54 百万円それぞれ減少しました。

負債は、未払費用が 1 億 55 百万円及び前受金が 71 百万円それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金が 1 億 52 百万円、電子記録債務が 1 億 73 百万円、短期借入金が 1 億 78 百万円それぞれ減少した結果、負債合計は 4 億 18 百万円(6.4%)減少し、61 億 26 百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が 1 億 6 百万円増加しましたが、利益剰余金が 1 億 43 百万円減少した結果、純資産合計は 35 百万円(0.9%)減少し、39 億 87 百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

景気には回復の期待感はありますものの、当社グループを取り巻く関連業界の状況には、急激な変化はなく推移するものと予測されます。この様な状況のなか、当社グループは計画した収益の確保に向け売上の拡大及びあらゆるコストの削減に努めてまいり所存であります。

従いまして、第 2 四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、市場動向など不確定要素はありますが、平成 27 年 3 月期決算短信(5 月 14 日)にて発表しましたものより変更しておりません。

今後、当社グループを取り巻く関連業界の情勢の変化により、第 2 四半期連結累計期間及び通期業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示致します。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第 21 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「企業結合会計基準」という。 )、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 22 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第 7 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「事業分離等会計基準」という。 )等を、当第 1 四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第 1 四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたしました。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第 1 四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第 58-2 項(4)、連結会計基準第 44-5 項(4)及び事業分離等会計基準第 57-4 項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第 1 四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第 1 四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありませ

## 3. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成 27 年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成 27 年 6 月 30 日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	996,518	768,299
受取手形及び売掛金	3,056,316	2,601,871
電子記録債権	143,886	119,906
製品	180,004	213,624
仕掛品	633,558	648,207
原材料及び貯蔵品	190,013	234,891
その他	102,503	89,726
貸倒引当金	1,706	1,570
流動資産合計	5,301,095	4,674,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	574,661	565,027
機械装置及び運搬具（純額）	326,134	323,347
土地	2,472,552	2,472,552
リース資産（純額）	73,129	67,822
建設仮勘定	21,020	43,412
その他（純額）	18,131	20,320
有形固定資産合計	3,485,629	3,492,482
無形固定資産		
36,110		38,006
投資その他の資産		
投資有価証券	1,629,421	1,798,871
その他	169,642	161,487
貸倒引当金	54,173	51,738
投資その他の資産合計	1,744,890	1,908,620
固定資産合計	5,266,630	5,439,110
資産合計	10,567,725	10,114,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成 27 年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成 27 年 6 月 30 日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,380,374	1,227,726
電子記録債務	861,260	688,049
短期借入金	1,664,056	1,485,060
リース債務	31,566	31,772
未払金	176,207	100,491
未払費用	87,101	242,189
未払法人税等	18,098	5,825
未払消費税等	70,914	30,678
前受金	70,244	141,327
賞与引当金	88,830	39,838
役員賞与引当金	12,000	3,000
その他	45,391	48,858
<b>流動負債合計</b>	<b>4,506,045</b>	<b>4,044,817</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	601,540	609,855
リース債務	90,904	82,883
役員退職慰労引当金	75,684	75,684
退職給付に係る負債	933,324	922,658
その他	337,212	390,202
<b>固定負債合計</b>	<b>2,038,666</b>	<b>2,081,283</b>
<b>負債合計</b>	<b>6,544,712</b>	<b>6,126,101</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,710,000	1,710,000
資本剰余金	329,347	329,347
利益剰余金	1,202,636	1,059,044
自己株式	80,832	81,005
<b>株主資本合計</b>	<b>3,161,151</b>	<b>3,017,386</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	575,796	681,841
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>575,796</b>	<b>681,841</b>
非支配株主持分	286,065	288,738
<b>純資産合計</b>	<b>4,023,013</b>	<b>3,987,966</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,567,725</b>	<b>10,114,067</b>

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日)
売上高	2,481,936	2,457,000
売上原価	2,008,232	2,055,233
売上総利益	473,704	401,767
販売費及び一般管理費	537,363	527,060
営業損失( )	63,659	125,292
営業外収益		
受取利息	180	188
受取配当金	2,756	2,861
助成金収入	5,616	4,744
その他	5,312	11,663
営業外収益合計	13,865	19,458
営業外費用		
支払利息	5,279	4,686
出向者人件費	933	899
その他	2,121	2,012
営業外費用合計	8,335	7,598
経常損失( )	58,128	113,433
特別利益		
固定資産売却益	709	3,306
投資有価証券売却益	-	121
特別利益合計	709	3,428
特別損失		
固定資産除売却損	243	256
ゴルフ会員権評価損	200	-
特別損失合計	443	256
税金等調整前四半期純損失( )	57,862	110,261
法人税、住民税及び事業税	16,352	5,698
法人税等調整額	3,991	6,569
法人税等合計	12,360	12,268
四半期純損失( )	70,223	122,529
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失( )	3,191	2,435
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	73,415	120,094



## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日)
四半期純損失( )	70,223	122,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120,956	113,769
その他の包括利益合計	120,956	113,769
四半期包括利益	50,733	8,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,993	14,049
非支配株主に係る四半期包括利益	8,740	5,289

## (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項

( 継続企業の前提に関する注記 )

該当事項はありません。

( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )

該当事項はありません。

( セグメント情報等 )

前第 1 四半期連結累計期間(自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 6 月 30 日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高圧機器 事業	鉄構輸送機 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,375,369	154,223	241,544	710,799	2,481,936		2,481,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,187			117,933	119,120	119,120	
計	1,376,556	154,223	241,544	828,732	2,601,056	119,120	2,481,936
セグメント利益又は損失( )	56,320	8,998	17,067	9,370	57,621	121,281	63,659

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 121,281 千円には、セグメント間取引消去 226 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 121,507 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	高圧機器 事業	鉄構輸送機 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,258,736	262,421	254,385	681,457	2,457,000		2,457,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	280			114,736	115,016	115,016	
計	1,259,016	262,421	254,385	796,194	2,572,017	115,016	2,457,000
セグメント利益又は損失( )	937	3,072	11,382	7,271	16,520	108,772	125,292

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 108,772 千円には、セグメント間取引消去 253 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 109,026 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。